

## 発 刊 の 辞

今般学習院大学経済学部では学部独立を機として新たな機関誌「学習院大学経済論集」を年4回の予定をもって刊行することとなり、此の度その第1号が出来上ったので、一言発刊の言葉を申し述べたい。

学習院大学の経済学科は、昭和27年「政経学部」の一学科として創設されて以来、経済学、経営学など一同の研究成果の一端を「政経学部研究年報」の形で発表してきた。その第1巻を昭和28年に出してから、巻を重ねて本年3月の第9巻に至ったのである。然るに本年4月従来の「政経学部」は発展して「法学部」と「経済学部」に分かれたので、私達の発表機関もそれに伴って新しい形をとることになったのである。

過去10年余りの期間「政経学部研究年報」に一同が発表してきた研究成果は学界に対する寄与という点で如何に評価さるべきものであろうか。機関誌の更新に際してこれは私達にとって自ら大きな関心事である。何れにしても私達がこの間に学界や大方から蒙った学恩の極めて大きいことを思うとき、私達は今後更に一層の奮発と努力をこの面に致したいという覚悟の新たなのを覚えるのである。当初は学科創設早々の際でスタッフの数もまだ少なく、研究設備も甚だ不備であった。幸いに今は発足当時に倍する研究陣容をえて学部の独立をみたので、これから一同更に心を新たに力を合せ、新しく誕生したこの「経済論集」を是非とも立派に育てあげて、1つには本学の学生のよき参考に資すと共に、学界に対しても従来以上の寄与を致したいものと深く期している次第である。そのためには広く学界や諸方の不断の叱正と従来にいや増す御後援を切に御願ひしてやまない。

終りに初代の政経学部長として特に経済学科の発展には多大の尽力をいただいた舞出長五郎先生が、本誌の発刊に先立って本年7月急逝されたことは私達の一入痛恨に堪えないところである。

猶、表紙の題字は安倍能成院長の筆に成るもので、誌して感謝の意を表したい。

昭和39年9月

経済学部長 北山富久二郎